



常陸太田平和の会から報告

日本平和大会学習パンフレットを学習する



▲学習パンフレット

常陸太田平和の会は、7月に入会者を迎え12人になりました。毎月定例化している事務局会議はメンバーが固定しているため、会員に「学習会」参加を呼びかけることになりました。学習会は、日本平和大会学習パンフレットを「会」で12冊購入し、輪番で講師を務めます。第1回目は、10月11日(火)午前中に実施。いつもの顔ぶれに、新会員の方も加わりました。

最初のページは「岸田政権かなり、危険」です。本文を読み、「平和を求める世論は脈々と」などの資料も参考にしながら「危険」な中身を取り上げて意見交換しました。とくに年末までに「国家安全保障戦略」を改定し、「国家防衛戦略」(防衛力のあり方と保有すべき防衛力の水準)「防衛力整備計画」(5年間の経費総額と主要装備の数量)を策定します。そのためにも憲法改悪を急ごうとしています。

これらの具体策については「岸田政権がめざすもの①～

④」などに詳述されている。表紙も含め24ページ立ての小冊子ですが、「読み応えのあるパンフレットだ」との感想が出されました。

「Jアラートが鳴るたびに、国民の不安を煽り、軍拡をすすめるようとしている」「国民の6割以上が反対した国葬が終わったが、またもや閣議決定で強行した。国会軽視も甚だしい」「クリミア半島からロシアに架かる橋が爆破され、プーチン大統領はウクライナ国内に向けてミサイルを発射している。『核兵器を使用するな』と声を上げなければならない」などの発言もありました。

「私たちは茨城県平和委員会です」の「宣伝チラシ」については、11月15日(火)、早朝JR常陸太田駅前配布(100枚 チラシは4つ折りする 主に高校生に手渡し)する、次回日程なども確認して定例会を終えました。



▲日本平和大会のチラシ

秋のチラシ、県平和委員会の活動を知らせよう!

県平和委員会の活動をお知らせする「秋の宣伝チラシ」ができました。チラシは、10月2日(日)の第1回理事会で持ち帰っていただきました。10月5日(水)には理事会に参加できなかったところには郵送しました。各平和の会で話し合ってください。チラシは3万3千枚印刷しました。例年と同じく1枚1円の負担をお願いします。

本県は、12月2日(金)告示、11日(日)投票で県議会議員選挙があります。大きな争点は東海第二原発の再稼働問題。高校生は、エネルギー政策や気候危機などに関心は高く、高校在学中でも18歳になれば有権者です。高校生の乗降がある最寄り駅などでも宣伝しましょう!

現在、チラシは「1,500枚」余、県平和委員会事務所に残っています。追加申し込みが出来ますのでご連絡ください。

あと1,500枚 発送できますよ!



▲表面

▼中面



平和公園の草刈り作業 年内は終了!

～7人の参加者が、道場の区域と進入路の草刈り～

百里基地では先月末に、ドイツ空軍の戦闘機などが飛来し、自衛隊機と共同訓練を行い、3日ほど滞在しました。ドイツ軍と自衛隊の連携をアピールするため、ドイツ空軍機が初来日し、百里基地がそれに使用されました。「百里基地反対連絡協議会(百里連協)は9月26日(月)、この日独共同訓練に対して文書で抗議を行いました。一方、平和公園には300人近い航空ファンがやってきて写真撮影を競っていました。



さて10月9日(日)は北東の風が吹く涼しい日で、作業にはちょうど良い天気でした。7人の参加者で、入り口から最も手前にある日本山妙法寺の道場がある区域と、進入路の草刈りを行いました。午前中で作業を終えることができました。これで、今年の草刈り作業は終了し、来年の初夏までは草の心配が無いと思います。草刈り作業に参加していただいたみなさん、大変ありがとうございました。

次回11月19日は、公園内の樹木の伐採作業を行います。主に、フェンス際にあつて、フェンスを越えるほどに伸びてしまった樹木を伐採しますので、参加をよろしく願います。(「百里の会」事務局長 栗又 衛)

日 時 11月19日(土) 9時30分～(雨天延期)

場 所 百里平和公園内

作業内容 樹木の伐採など整備作業

準 備 作業できる服装 **○昼食は用意します。**

連 絡 百里の会 (080-9457-6381 伊達所持)

・風間 道夫 (090 2339 0025) ・梅沢 優 (080 1172 3075)

・栗又 衛 (090 2213 8339) ・百里の会 (hyakurip@gmail.com)

新聞意見広告「賛同金」とりくみのお願い —12月3日(土) 朝日新聞掲載予定—

毎年、アジア・太平洋戦争がはじまった12月8日を忘れず、反戦平和を訴えるため「意見広告」掲載に取り組んできました。会員以外の方々にも平和委員会を知っていただくと同時に、賛同金の支援をお願いする重要な取り組みです。今年度は12月3日(土)、朝日新聞に掲載予定です。

テーマは、昨年に引き続き「核兵器ノー」「戦争ノー」をイメージしながら、委員会で検討し、制作しています。11月20日ごろ完成を目指しています。広告のイメージがありましたら、県平和委員会事務局までご連絡ください。アイデア募集中です!

(新聞意見広告制作実行委員会)

映画「百年と希望」を観る

篠原 睦

映画「百年と希望」を見る機会を得た。監督は、西原孝至(1983年生まれ)さん。2016年9月19日「戦争法」が強行採決されたが、西原監督は、この時初めて、日本共産党の活動に接したという。いただいたチラシには「最古の政党が歩んできた百年の歴史とそれを受け継ぐ若き世代を映した1年間の記録」とある。映画には、日本共産党員5人としんぶん赤旗編集局などが登場する。

冒頭、前衆議院議員だった池内さおりさんが弱者を救済しない政治の責任を厳しく追及する国会の場面から始まる。池内さんも含め5人の党員が、入党のきっかけや自身の活動について語る。若い都議会議員や宮城県で活動する青年、定年後茨城県に戻り農業に従事している男性も登場する。「共産党は、わたしの生き方」と照れたように話す20代の女性は、フードバンク活動に取り組んでいる。

「百年と希望」は、幼い女子が、フードバンクに用意され

ていたお菓子をもらい、お母さんに手を引かれて公園を歩いて行く後ろ姿で、静かに終わる。映画は、政治と政治家の役割とは何か、党員の苦悩や共産党への苦言もインタビューを通して描かれる。たった「1年間の記録」だが、これまでの百年に、これからの「希望」が重なる。あらためて「反戦平和」運動の大切さを感じた。

県内での上映は決まっていないようだが、多くの人に見てもらいたい。

